

会 議 録

会議の名称	こまき新産業振興センター運営協議会				
開催日時	令和6年8月5日(月)午前10時00分～午前11時30分				
開催場所	小牧市役所本庁舎6階 601会議室				
出席者及び欠席者	【委員】 ○出席者 森岡孝文（中部大学 経営情報学部 教授） 石亀一郎（中小企業基盤整備機構中部本部 企業支援部長） 渡辺裕香（あいち産業振興機構 理事長） 矢橋英明（株式会社関ヶ原製作所 代表取締役社長） 【新産業振興センター】 金田 堅（こまき新産業振興センター センター長） 日高鮎子（こまき新産業振興センター 臨時職員） 【事務局】 石川 徹 （地域活性化営業部長） 伊藤加代子（地域活性化営業部次長） 久田雅樹 （商工振興課長） 岩下貴洋 （商工振興課 新産業創出係長） 多田 匠 （商工振興課 新産業創出係主事補） 納口暖加 （商工振興課 新産業創出係主事補）				
傍聴の可否	☒ 可 ☐ 否	傍聴定員	3名	傍聴人数	1名
会議次第	1 令和5年度事業実績について 2 令和6年度事業計画及び活動実績について 3 その他				
問合せ先	小牧市役所 地域活性化営業部 商工振興課				
会議内容	別紙1参照				

会 議 内 容

<開会>

あいさつ

<議題>

(1) 令和 5 年度事業実績について

- ・ 金田センター長から資料 1 に沿って説明。

○主な質疑

【渡辺委員】

- ・ KPI については、令和 4 年度より増えているのでしょうか。

【事務局】

- ・ 令和 4 年度の実績は、①成長産業分野への新規参入支援企業数が目標 3 件に対し実績 3 件、②支援企業の新事業展開による新たな取引件数が目標 42 件に対し実績 37 件、③支援企業のうち生産性革命の取組みにより生産性を向上させた企業数が目標 8 件に対し実績 13 件という結果でした。
- ・ 特に③については、昨年度から開始したデジタル化支援補助金の効果により大きく伸びました。

【森岡会長】

- ・ KPI については、②を除き達成しているという状況でかなり活動が活発になっていたと思われます。また、デジタル化支援補助金についてもかなり利用があったということで今年度も拡張されたのかご説明いただけますか。

【事務局】

- ・ デジタル化支援補助金については、昨年度 14 件の支援をさせていただきましたが、開始 3 カ月で予算が尽きてしまい、様々なお声もいただきましたので、今年度は補助限度額を 300 万から 100 万円に、予算額を 1,800 万円から 4,800 万確保し運用しております。
- ・ また、現在の申請状況としては 32 社で、そのうち 20 社を超える事業所には、こまき新産業振興センターと共に訪問させていただき、ヒア

リングと導入に向けた支援を行っております。

【森岡委員】

- ・ より多くの中小企業の方に利用していただくという方向性は如実に予算に反映されており、既にかかなりの申し込みもあるという状況ですね。

（２）令和６年度事業計画及び活動実績について

- ・ 金田センターから資料２，３に沿って以下のように説明。
- ・ センターが発足して５年が経過し、成長期に入ってきており、将来的に持続的な支援づくりができる体制を作りながら進めていきたい。
- ・ 最近、金融機関の方から中小企業から受けた相談をどこに相談したら良いかとの問い合わせもあり、受け皿として支援機関や専門家に繋ぐなど支援していく。
- ・ KGI としては、個人→個人事業主→中小企業→中堅企業→大企業と発展していくことが望ましいと考え、この状況をトレースしていける体制を作りたいと考えている。
- ・ KPI としては、①成長産業分野への新規参入企業数が目標 1 件②新事業展開による新たな取引件数が目標 38 件、③生産性革命の取組みにより生産性を向上させた企業数が目標 16 件、④訪問件数が 200 件とし、ワークショップも開催して 4 社ほど支援したいと考えている。
- ・ 運営としては、支援状態が見える化し、企業、案件ごとにステージを分けて最終的に KGI に繋げていきたい。

○主な質疑

【渡辺委員】

- ・ 中長期の展望を概念的に整理するということは、組織にとって非常に必要なことで、今後、効果が発揮されるものではないかと思います。
- ・ また、仕事の見える化というのも、５年経った今の組織管理として非常に適宜的確な整理をされたのではないかと思います。
- ・ 私たちも県の外郭団体としての立場で、同じような悩みや懸念があると思いますが、小牧市との関係性というのはどのようにお考えでしょうか。

【金田センター長】

- ・ 小牧市と小牧商工会議所、センターの３者が一体となって進めていかなければならないと考えており、毎月１回は、３者ミーティングを行って１ヶ月の活動内容の報告をします。毎週火曜日にはどこへ訪問するか、どのような課題があるかなど情報共有する中で、方向性等の確認もしている状況です。

【石亀委員】

- ・ 支援企業を広げつつも 1 社ずつ丁寧に支援していくとともに、フェーズ管理をして人が変わってもしっかりと残るようにするというところで、とても参考になりました。
- ・ 企業間マッチングについては、私たちのジェグテックをお使いいただいているということでありありがとうございます。ジェグテックも立ち上げて 10 年経ちますが、元々は国内の大手製造業と中小企業とのマッチングという趣旨でしたが、最近だと海外展開の支援にも注力しており、海外の国の支援機関等との提携によって、海外企業とのマッチングや商談会のご案内をさせていただいております。
- ・ また、スタートアップ関係としては、スタートアップの特設サイトを作り、中小企業との交流ということもやっておりますので、マッチングやご提案のきっかけとして覗いていただけたら嬉しいと思っております。
- ・ 生産性革命ということで、IT 化・DX 化というところを注力されていると思いますが、私たちも DX 化の支援をする中で、その中小企業の課題が何か、本当にそこなのか、システムの問題なのかという場面がとても多くあります。また、システムを導入しただけでは当然成果は出ず、PDCA のようなものをある程度一定期間やらないと、リテラシーも上がらない、成果も出ないと感じています。ただし、一方で、支援の工数を考えると非常に悩ましいところで、そのあたりは率直にどのように悩み、取り組んでおられるかお伺いできればと思います。

【金田センター長】

- ・ 中小企業を訪問する中で、あれもこれもやりたいという中小企業の方もいらっしゃると思いますが、まずは既存の業務 1 つをしっかりとデジタル化することによっていかに効果が有るかを実感してほしい。
- ・ 導入決定判断や期待値などについてもフォローをしますが、どこまで行うかということは私たちも課題だと思っております。

【矢橋委員】

- ・ 発足から 5 年が経ったということで、様々な活動をされてきたことに敬意を表することと、とても泥臭いフェイストゥフェイスのコミュニケーションをやられているなという事を本当に感じます。
- ・ 要望を申し上げると、少し人が変わりすぎているなという気はしていて、やはり、中小企業というのは人と人との信用や信頼があるので、色々なメンバーが長く続けることによって、その方を信じて一緒にな

ってやっていこうという気持ちも生まれてくると思います。

- ・また、過去・現在・未来という形で上手く 5 年間を整理されて、フォアキャストからバックキャストの時代が変わってきているので、未来志向で今なにをやるべきかの課題を整理されているのは非常に素晴らしいことだと思います。
- ・経営資源も限られているので、これから先は、課題を絞り込み、1 年 1 年結果を出しながら、未来のゴールに向けた結果を出すということが非常に大事かと思います。
- ・次に、中小企業の立場から言えば、一番の困りごとは間違いなく人で、採用と教育です。これが会社の BCP など継続するための全ての課題で、我々の協力企業もたくさんありますが、30 人～50 人規模の会社であれば、働いているのは高齢者や外国の方が多いです。
- ・我々の企業規模でも採用が難しくなってきた、大手がかなりベースアップや福利厚生も充実しており、これからどんどん若い労働人口が減る中で、デジタル化以前に、人の確保に向けた活動をどうするかということ是非常に大事だと思っています。
- ・また、中小企業へのアプローチは非常に多いですが、小牧市には優秀な大企業が多くあるので、大企業へのアプローチを通じて、中小企業とのマッチングをするということは大事なことだと思います。大企業も非常に困っていることは多くあり、大企業も中小企業がいなければ生産できないわけで、効率よくやるために、大企業の中でも中小企業への調達や生産技術の方を上手く活用しながらやると、新しいマッチングが生まれることもあるのではないかと考えています。
- ・最後に私事になりますが、5 月末にサイバー攻撃、ランサムウェアの被害に遭い、それまでは他人事でしたが、我々もまさかの出来事が起きて、月曜日に全て止まってしまいました。中小企業は、そういったものにとっても弱く、手つかずの状態であるのが実情で、まさか我々がそんなことをやられるわけないと思っている社長さんがほとんどだと思いますが、実際は身近に迫っていて、どこでも起こりうることで、こういったことも BCP の一つとして重点的に取り上げていただいて、色々な発信をしていただけるといいのかなと思います。

【金田センター長】

- ・センターを持続的に運営していくということは、私も課題だと考えておりますので、市や商工会議所と相談しながら練っていこうと思います。
- ・次に、人手不足については、工科高校の先生とお話する機会がありましたが、1 人に対し 20 社ほど話があるようで、大企業に行く学生さんが多いようです。しかし、大企業に入っても退職される方もいるので、

そういった方をこまめに拾うことも大事だと思っています。

- ・サイバー攻撃やセキュリティについては、リスク対応が不足していることは記載しましたが、今後セミナーなど継続的に中小企業に話をさせていただき、支援していきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

【森岡会長】

- ・市と会議所、センターの三位一体で活動しているということで、それぞれの位置づけを明確にし、センターの人員が足りないときは、会議所の方でバックアップするなどの体制も考えるのではないかと思います。また、商工会議所の経営指導員など現場の方と調整することが重要だと思います。
- ・矢橋委員から話のあったセキュリティ啓発活動については、関係ないと思われる中小企業の方は多いと思うので、至急取り上げ、重点的にやっていただく必要があると思います。

【金田センター長】

- ・最近では、企業へ訪問する際に会議所の方と一緒にいくようになったので、一つ進歩かなと思っています。
- ・また、商工会議所には様々な業種の部会があり、そちらにも顔を出させていただいて、センターのPRもしていきたいと考えております。
- ・また、セキュリティにつきましては、両委員からお話がありましたので、重点施策として追加し、啓発活動やセミナーなどもやっていきたいと思っています。

【森岡会長】

- ・会議所の部会とかかわりを持っていかれるのは非常に有効な手段であると考えます。ぜひ、進めていただければと思います。

< 閉会 >